

後藤逸男氏が 分析集計報告



斗澤会長

13時より開会し、斗澤会長(JA十和田おいらせ代表専務理事)が挨拶。「先般の国会において食料・農業・農村基本法が改正され、環境負荷の軽減が盛り込まれています。また、みどりの食料システム戦略では土壌診断と堆肥活用の取り組みを推進することが明記されています。今回の研究会では手合わせ分析の結果報告のほか、塩酸抽出法による家畜糞堆肥の分析法とその活用についての講演が行われますが、まさに堆肥活用における次のステップに繋がるものであると期待しています。今後は当研究会でも堆肥の手合わせ分析も視野に入れて活動を続けていきたいと考えております」と述べた。

このあと東京農業大学名誉教授・全国土壌学会会長の後藤逸男氏が手合わせ分析の結果について報告した。今回は37の分析室が参加して3か所(高知県土佐市岩戸の優良水田土壌、高知県幡多郡黒潮町の秋落ち水田土壌、長野県諏訪郡富士見町の根こぶ病発生露地畑)の土壌分析を行った。今回は報告書の集計に従来の集計方法に加えて、より正確なロバスト法を採用している。集計結果から今後改善すべき点を後藤会長が指摘し、農家のためにも正確な分析をお願いしたいと結んだ。

特別講演はジェイコムアグリ(株)技術顧問の加藤直人氏が「塩酸抽出法による家畜糞堆肥の分析法」のテーマで、家畜糞堆肥中の肥料成分の特徴、塩酸抽出法の概要、今後の家畜糞堆肥の利用方向について解説した。

閉会の辞で畑生科研の中嶋大地会長は、「我々の命を支えている農業、そして流通、消費に至るまでのアグリフードシステムが連鎖的な危機に直面している。農業生産は世界的な気候変動や土壌の劣化で、その土台が大きく揺らいでおり、こうした状況が当面は続くと思えます。皆様方には、産地、生産者の立場に立った土壌診断対応をよろしく願います。いま肥料高騰対策の一環として国や県は地域にある未利用資源、あるいは有機物堆肥の利用を強く推進しています。日本農業の持続的な発展に貢献できるように、共に頑張っていきたい」と述べ、研究会を終えた。

異常気象を背景に市場が拡大

新園芸資材 バイオスティミュラント

植物のストレス軽減する作用

異常気象を背景に世界的にバイオスティミュラント(BS)の利が年々増加している。農林水産省は「みどりの食料システム戦略」の中で2050年までに化学農薬の使用量を50%削減(リスク換算)と、有機栽培面積を25%拡大することが明記されているが、その実現手段の一つとしてBSの利用が明記されている。

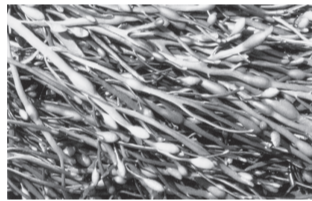
BSは植物のストレスを軽減することにより、植物が本来持っている能力を引き出すもので、高温、低温、乾燥などの非生物的ストレスを緩和する作用がある。肥料は植物が直接吸収する栄養素を供給するが、BSは肥料の吸収を助ける働きをして植物の生理状態をより良くする。

世界的に利用が年々増加しており、2021年に約3,650億円だった市場規模が、2025年は5,670億円超の巨大市場になるとの試算が出ている。とくにヨーロッパでは農業や化学肥料の使用規制、熱波などの気候変動、有機栽培の広がりを受け、早くか

らBSの利用が拡大し、自社の栽培に関する講習会を毎年各地で開催している。その中でBSの活用についても現場の課題に即した提案ができていくという。一方、世界的農業大手のUPJグループは、BS開発において優れた製品・技術開発力と普及推進力を持つっており、今後はサカタのタネから同社に生産現場のニーズや活用方法などの情報を提供し、その課題解決につながる新しいBSを共同開発することなどを計画している。

6月には協業第一弾製品として海藻抽出成分由来の機能性活性剤「GAXY(ギャクシー)」の販売を開始した。

海藻抽出成分由来 機能性活性剤 ギャクシー



海藻抽出成分由来の機能性活性剤「ギャクシー」

植物の生命活動に必須なポリアミンの生産を増幅し、若い果実の成長促進、サイズの均等化、品質の向上が期待できる。

植物が吸収しにくい

OS 交配 この夏・秋の定番実力品種!!
最高品質・シャリッとおいしく食感抜群

バランス良い耐病性品種
かつぱん強し

複合耐病性品種
ウドンコ・褐斑・ベト病に強い

ゆうみ (結実) 637 1月~3月まき用	まりん 1月~8月まき用
エクセレント620 1月~10月まき用	ニーナ ニーナZ (ゼット) Zはニーナより草勢強め 周年栽培可能
ちなつ PVP 第20749号 1月~8月まき用	かねそなえ 兼備1号 8月~9月及び 12月中旬以降2月まき用
席巻普及実力品種	かねそなえ 兼備2号 1月中旬~8月中旬まき用
恵の風 1月~8月まき用	はやか 2月~7月まき用
エクセレント節成	ゆうしょう 勇翔 6月~2月まき用

相性ひったり、バランスOK
OS 交配 ブルームレス台木

ホウ素やカルシウムの吸収効率をギャクシーが改善することで高温障害の対策に期待でき、作物を健全に保つ。ため、単位面積当たりのコスト(10畝当たり)が削減されるので、広取り除いたため、灌水や薬剤散布などの既存の作業に組み込みやすい(多くの農薬と混用できる)ことが確認されている。また、低粘度のためにドローンによる散布も可能。

希望小売価格は1リットル26,400円(税込)。全国の種苗店、農業資材店、JAなどを通じて販売。

カトー動物質高級有機肥料

動物質有機肥料は、肥料分のほか、微量元素・アミノ酸・核酸・酵素も供給します。

◆ぼかし肥料の原料としてもお使い頂けます。

【特徴】
*各原料の分解特性を考慮して設計配合してあります。
*長期間の穏やかな分解で無機化も緩慢ですから、肥切れや濃度障害も緩和されむらのない養分供給が図れます。
*土壌微生物を活性化し団粒形成・保水性・通気性の向上等土壌環境を改善されます。
*連用しても作物・土壌を選ばず悪化させることはありません。

強力新微生物改良剤 **ネニソイル** 地力保全研究会推奨 **土こうじん**

(株)加藤工業所 肥料事業部
〒322-0033 栃木県鹿沼市府所町 20
TEL 0289-65-3121 FAX 0289-65-3124
http://www.kato-industry.com

きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元 **株式会社 埼玉原種育成会**
〒346-0105 埼玉県久喜市葛蒲町新堀 2,616 番地
TEL: 0480-85-0854 (代) FAX: 0480-85-0407

OS 交配種子発売元 **株式会社 シード**
〒346-0105 埼玉県久喜市葛蒲町新堀 2,616 番地
TEL: 0480-85-7211 (代) FAX: 0480-85-0407

ハウス・露地 全作型 オールシーズン適応。
立地条件や草勢のバランスを考慮し、穂木とのバランスを整えます。
ブルーム台木も、全作型に適応できますように揃えております。
詳しくは弊社にお問い合わせください。

その土で本当にいいの？

熊本県八代市
高濱 泰

50年連作を可能にする土づくり ⑪

22. 砂漠でトマトを育てるプラント

テレビで見た話ですが、日本のとある会社が砂漠でトマトを栽培出来るユニットを、ドバイだっと思いましたが持ち込んで試験しました。酷暑の暑間はエアコンと換気扇と遮光フィルムの3点セットで暑さ対策を施し、根圏は高分子ポリマーを利用した薄いユニットに液肥を流して水分と養分を吸わせていたようでした。

見事なまでとは言えなかったのですが、過酷な条件の中で、トマトは立派な実を付けて収穫にこぎつけたようです。ところが、2年目になると、生育はガラリと変わり、葉が垂れて色が抜けたようになり収穫量はガクンと落ちたらしいです。これでは計画がとん挫すると考えた会社は、根圏用のユニットを新品に入れ替えました。するとまた一年目と同じ収量が採れたそうです。

このことから解ったのは、根が養水分を吸収するとき、根から排せつ物が出ていて、それがある程度の濃度に達すると、根の活動を阻害するのではないかとということでした。そういわれてみると、我々のハウスの現場にも当てはまることがあります。

新設したハウスは最初の数年は良い成績に恵まれます。ところが、数年後には成績が落ち始め、やがて休耕にせざるを得ない状況まで落ちてしまうことが多々あります。休ませてもみだりなもの、次に作ったところで何も変わっていないことに愕然となることもありまます。しかもハウスの鋼管は、休耕にしてフィルムを張らずに雨ざらしにすると、サビの発生が早まり寿命が短くなるのです。

20トンを50年続けて出せる技術を持つて作るトマトの総売り上げと、最初20トンを採れたにも関わらず、そのあとシリ貧、10年先から3年に一度の休耕。さらに20年後からは1年ごとに休耕させて、30年経たずに取り壊しになったハウスの総売り上げを比較するとおそろ

く半分以下です。

1年も休ませずに同じ場所にずっと作り続ける技術の習得こそ、ハウス園芸農家にとって一番大事な、生きるため、農家として存続していくための最大の礎だと私は考えています。平成13年に建てた我が家のハウスのトマトですが、当初は全くのダメトマトでした。元々、稲が秋落ちして地力の低い劣悪な素性の土地に建てたので、客土はしたもの、尻腐れ、アンコ玉など生理障害多発で、そのうえ小玉ばかり。全然結果がいません。

そんな足引つ張りのハウスでしたが、毎年毎年堆肥を入れ続け、サブソイラーを引いて、太陽熱消毒をしっかりと行い連作を続けました。10年後には他のハウスと遜色ないトマトになり、以後、ずっと成績は優秀です。劣悪な土でも粘り強く堆肥を入れていくと、良い土に変えていくことが出来ます。根から出る老廃物も堆肥を入れることによって、害を抑え込むことが出来ると思っています。

我々は自営業です。会社員、公務員のように決まった給料を頂ける身分ではありません。故に、どうすれば良いものが出来て良い稼ぎになるかを日々探求していかねばなりません。「土が肥える」と家が増え、土が痩せる」と家は減る。私の作った定説です。

23. 肥料はガソリン 堆肥はオイル

私は土耕で作物を作る仕組みが、自動車のエンジンに似たような所があるなあと思っています。土にとっての燃料(ガソリン)は肥料、オイルは堆肥ではないかと思えます。燃料の肥料をどにかくできるだけ沢山使えば出力(収量)が上がると思い込んでいる人がかなりの数います。

しかし、やりすぎて失敗していることに気づいている人は少ない。肥料をやりすぎて、その上オイルの方には一切気を向けない人が殆どです。少ない肥料を残さず作物に吸わせる工夫が必要です。そしてそれこそが連作の

為の重要なポイントだと思えます。

焼き付きをおこして回転が上がらないエンジンでは、どんなにアクセルを踏みつけて燃料を送っても一向に回転は上がりず、ついには回転しなくなってしまう。きちんとメンテナンスが出来ている土なら、何年作ってもある程度の出力(収量)は出ます。堆肥は土の潤滑油の役割も果たしています。

エンジンの場合なら出力を上げる為には排気量を増やすのが手っ取り早いと思われまます。土の場合、出力を上げるポイントは「塩基置換容量(CEC)」ではないかと。

元々は海であり、そこを堤防で囲って造った干拓地であるが故、砂質が基本の我が昭和地区の塩基置換容量は最低レベルの5前後です。そこに粘土質の赤土を客土すると8ぐらまで上げることが出来ます。しかし、粘土には「乾いたら硬くなってゴロゴロして扱いにくい。地割れして根が切れる」等のマイナスな面も見られます。

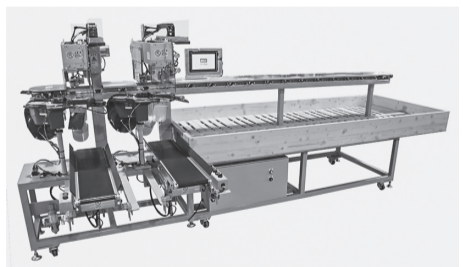
粘土の特性を生かし、マイナスイオンを解消してくれるのも堆肥です。毎年入れ続けた結果、ゴロゴロは解消され畝づくりの作業工程が短くなり塩基置換容量が10、腐植率は5を越えました。先に記した380万の客土は、当初家族からすごいブーイングの嵐でしたが、今ではしつとりゴロゴロに変わっています。

46年休ませることなく作り続けてこられたのは、この堆肥とそれに繁殖した微生物の恩恵だと思っております。土に肥料を施すと分解が始まりますが、塩基置換容量の低い土では根焼けが起こりやすいです。粘土や堆肥を使うと、それが緩衝材の役割を果たしてくれるので、根焼けしにくくなるのは農学の世界では常識ですね。(つづく)



堆肥の出来をチェックする高濱氏

マックス新製品 タブレット搭載袋とじ機 コニクリッパデュアル



マックス(株)は、青果能

部品の経年劣化などによる不具合が発生した際、従来機はユーザーが部品名を特定できず、修理担当者として、タブレットを搭載した「コニクリッパデュアル」を制作していた。「部品検索機能」の活用により、ユーザー自身が部品名を特定、伝達することが可能となり、担当者とのやりとりが軽減でき、メンテナンスの時間を短縮できる。

本製品は操作部分を変更するため、メンテナンス従来のタッチパネルからタブレットに置き換え、「サポート動画機能」や「部品検索機能」を内蔵したことで機械に関する困りごとを素早く解決し、作業復帰までに要する時間を削減する。特長は次の通り。

- 「サポート動画機能」が発生した場合でも、サポート動画を視聴することで対応方法を確認することができ、ユーザー自身で解決できる。
- 「部品検索機能」が「結束データ確認機能」や「日・週・月ごと」の単位で結束数が確認できる。また、日々の結束数の推移をタブレット上でリスト形式やグラフで表示したり、結束数のカウンタに加えて作業時間も把握できる。時間あたりの生産性が把握でき、エラー画面を刷新し不具合が発生した部分を文字と図面で表示するため、要因と復帰方法がわかりやすくなった。

SMART KIT 自動換気システムは生産者の労力を軽減しさらに生産性を高めます！
人と作物に快適な環境を作りだします！

単棟ハウス用 ビニール巻上げ換気装置

SMART KIT!!

雨センサー(オプション)
モデル:WRS-3520

換気窓自動制御盤
モデル:YN-2

温度センサー



DC24V 電動開閉機
モデル:WSM-3520

DC24V 電動開閉機
モデル:WSM-3520



アームタイプ設置[例]



アームタイプ構成

YN-2 WSM-3520 2台
カップリング2セット ガイドアーム2セット



ローラータイプ設置[例]



ローラータイプ構成

YN-2 WSM-3520 2台
カップリング2セット ガイドローラ2セット

製品特徴

- ・丈夫で長期間使用できます。
- ・設置や操作が簡単で、どなたでも取り扱えます。
- ・制御盤の管理プログラムにより、ハウスに最適な栽培環境を作り出します。
- ・大幅な省力化になり、投資費用も早期に回収出来ます。

雨センサー

オプション

モデル:WRS-485

3面立体感知方式
乾燥(発熱)機能
感度調節機能

WSH 友成HITEC
http://www.wsh.co.kr
e-mail:wsh@wsh.co.kr

販売代理店
* 九州地区: (株)JKCアグロ (0965)46-0415
* 四国地区: (株)石原 (087)898-5294

* 中部地区: KANEYA CO.,LTD (0569)65-1256
* 北海道地区: (株)大字農園 (0167)22-8700
* 北海道地区: (有)矢野アグリ (0142)82-5366

栽培コンサルタントを10年間取り組んできた デルフィー・ジャパンから見た施設園芸での課題

～株式会社デルフィー・ジャパン 齊藤章～



デルフィー・ジャパンの齊藤章氏は、懐誠和で施設園芸に関する業務に携わっていたが、10年前にオランダの施設園芸コンサルタントグループ、デルフィー・ジャパンに移り、栽培や経営に関する指導・助言のほか、セミナーや講演活動などを行っている。6月に開催した園芸植物育種研究所の園芸技術講習会では、デルフィー・ジャパンが10年間行ってきた取り組みと成果について紹介したほか、施設園芸の持続的発展に向けた課題と展望について言及した。

デルフィー・ジャパンの概要と活動内容

これからの施設園芸が魅力的かつ持続的な成長をしていくためにはどうすればいいのか、私たちの紹介も含めてお話しします。デルフィー・ジャパンは2014年に設立した国内初の民間栽培コンサルタント会社で、0.1畝規模の生産者から国内トップクラスの収量を目標としている大規模生産者まで、様々な方を対象にしたコンサルティングを行っており、現在8名で活動しています。活動内容は、高収量・高品質、経費削減などに特化したコンサルティングのほかにはセミナーや講習会を行っています。知識や技術は提供しますが、種苗、農薬、肥料、資材を提供したりすることは一切行っており、農産物の買い上げも行いません。生産者の目標を達成してもらうことが私たちの仕事です。

施設園芸の重要性と課題への取り組み

農業は単に食料供給だけではなく、世界中の人に健康を提供している産業であり、持続的な発展をしていくためには技術革新やイノベーションが常に必要です。世界的に食料需要が増加して、さらには食の品質や安全への関心が高まっていくと思われれます。そして施設園芸に関しては脱化石燃料の話がどんどん進み、デルフィーの本部があるオランダでは正式決定ではないですが2030年から新しく建てるハウスは化石燃料の使用が許可されないのではないかと話が出ています。それと減化学農薬、減化学肥料栽培が世界的に注目されているほか、世界的には水資源

の利用に制限がかかるのではないかとされています。日本は雨量が多いので地下水をいくら汲み上げても大丈夫なものだと思われている方がいますが、世界的には地下水は化石燃料と同じ資源との認識で、オランダでは地下水の汲み上げに税金がかかっています。ということは地下水を使わないでくれという方向性で、これらを解決できるのが施設園芸であり、その重要性を業界の関係者が世の中に訴えていかなければいけないと思います。現在の国内状況ですが、3つの問題があると思います。①農業人口が減少(高齢化・担い手不足)、②物価上昇(資材・資源価格の高騰・急激な円安)、③異常気象(暑い夏)。

高収量・高品質栽培の実現に向けた知識と技術の提供

デルフィーの取り組みは生産者との信頼関係を築いて目標を達成させることです。その一つが収量で、大玉トマトは50kg以上の人が結構出てきました。普通の品種でも40kgくらいは取れると考えています。ハイワイヤー誘引で軒高5〜6mのハウスを建てたければ50kgを目指さないと採算が合わない。30kgしか取れないから儲からない。ミニトマトも30kgくらいは普通に出来るようになって、20kgならば手の届く誘引でも取れますよと言っています。

デルフィーと生産者=信頼関係

- 高い収量
 - ・生育は至って普通 → ここがポイント!
 - ・戦略と戦術の共有
 - ・知識は技術と経験不足を補うことが出来る
- 高い投資意欲
 - ・生産者から経営者に!
 - ・必要なものには投資する
 - ・チャレンジが怖くなくなる

ちあいかを作っています。いままで出来なかったような収量が達成できています。昨年私どもで企業や生産者の方と年間契約をしてコンサルティングを実施したお客さんは86名います。そのほかにも自治体やJAとかで研修などを行っています。120軒くらいと年間契約をしています。


高収量を得ている生産者がいますよと話す

高収量を得ている生産者がいますよと話す。多くの方が視察に行きたいと言っています。視察したあとに必ずどうでしたかと聞いていますが、8割くらいの方が「普通の栽培だった。うちと何も変わらなかった」と言っています。実はそこがポイントです。私は言っています。高収量だから密植栽培でトマトやイチゴがいつばいなくなっているんじゃないかとイメージする方がいますが、決してそんなことはない。最大のポイントは良い状態が1年間ずっと持続されていることで、普通のことをやればいいだけ。これが私たちの栽培に関する戦略と戦術です。


栽培には知識と技術が必要、さらには経験や勘も必要になってきます。残念ながら技術と経験は年数が経てば、知識があれば技術と経験不足は補えます。先ほど話した栃木県でイチゴ12t取っている生産者の目標は上場することが夢だそうで、そういう方たちは新しいことにチャレンジすることが怖くなくなっています。こうした方を支援しているのがデルフィーであり、継続的な成長を生産者にしてもらいたいと願っています。いまは時代の流れが早く、現状維持というのは基本的に衰退です。ですからどのように成長していくか考えなければいけません。それを実施するためにまず知識と技術が必要です。多くの方が知識はあるけれども技術がないとか、技術はあるけれども知識がないというように、どちらかが欠けてしまっている方が多いので、両輪を回してあげることが重要だと思っています。(6面つづく)

村田の苗は土づくりを基本とし環境にやさしい手作り苗です!!


全国各地のJA(支所を含む)のほかに問屋等200件余りの取引先への苗出荷を通して、生産者の方々の栽培を支えています。村田の苗は全国的に高い評価をいただき、数々の賞を受賞しています。




キュウリ接木苗 7.5cm
本葉2~2.5枚まで



トマト接木苗 9.0cm



ナス接木苗 7.5cm
本葉4.5~5.5枚



ピーマン苗 9.0cm
本葉8~10枚まで

育苗種類はキュウリ、トマト、ナス、メロン、スイカ、カボチャなど多種類に及びます。ここに示したのはほんの一例です。

ご注文はお近くのJA、種苗店等を通じてご用意いただいています。なお、お問い合わせは下記へ。

(株)村田農場
〒791-0214 愛媛県東温市南野田734-1
TEL 089(964)7878 FAX 089(964)0406
ネットからのご注文も承っています。 <http://muratafarm.co.jp>

最高の苗作りをお手伝いします

TY育苗ポット培土 好評発売

果菜類、花卉、その他鉢上げ用

50ℓ入り
(製造充填時容量)



- 7つの微量元素(マンガン・ホウ素・鉄・亜鉛・銅・マグネシウム・モリブデン)入り。
- 通気性・保水性・透水性に優れた「育苗培土」です。
- 生育に最適なpHに調節してあります。
- 軽量設計で作業性がアップします。

<使用上の注意点>

- 最初に使用する際は、十分に灌水して下さい。
- 栽培中は本品を乾燥させないようにして下さい。
- 初期生育の肥料が入っておりますが、状況に応じて追肥を行って下さい。

チッソ	リンサン	カリ	pH	EC
200	600	200	5.5~6.5	1.0以下

【肥料添加量 mg/ℓ】

スイカ・メロン・接ぎ木木台・小松菜
ハクサイ・からし菜・ニラ等の育種元

東洋農事株式会社 〒309-1127 茨城県筑西市桑山 2000-1
電話 0296(57)2225 代 FAX0296(57)9712

生産者との対等な関係と目標達成へのサポート

そして施設園芸は道具(施設や機器など)を使う栽培方法ですから、それも重要になってくるし、そのほか種苗も重要で、収量がとれて栽培しやすい、もしくは高品質というのが栽培を行う上で大切なことなので、目標を達成するための適切な種苗選択と施設を準備することが重要です。

デルフィーは実践的で再現性の高い助言をしています。なにか小難しいことを話しているのではと思う方がいらつしやいますが、そんなことは全然なく、非常にシンプルで簡単な話をしています。ですから経験の高い人ほどなかなか受け入れてもらえないかもしれない。シンプルがゆえに難しいというわけです。農業はいろんな栽培方法がありますが、農業の特徴は投資をすればするほど、どんどん複雑化して難しくなっていくことです。なので投資をする場合は高い知識と技術を備えた中でやってみることが重要だと思っています。その究極が人工光型の植物工場です。人工光だからスイッチを押せばデータ等が出てくるんじゃないかと思ってる方が企業の中にたくさんいらつしやいますけれども、だからうまくいかないと思つています。それを私たちはコンサルティングという形で生産者の方に適切な情報を提供しています。

生産・家業・事業 対象者は誰か?

私たちの活動は全て事業であり、対象にしている生産者の方も事業をやっている方です。よく売り上げいくらですか、利益どれくらいですかと尋ねても、そんなの教えられないよという人がたくさんいます。企業で売り上げいくらですかと言つて答えられない企業はたくさんありません。例えばデルフィーの売り上げはいくらで利益率は何%かというのは公表されることなので答えられますが、斉藤さんの給料はいくらですかと言われたら答えたくないですよ。多分これと一緒になんです。

これは生業・家業だからと思います。自分が生業なのか家業なのか、あるいは事業をやっているのか。私どもは上場している企業さ

んにもコンサルティングに行つていますが、そういうところは決算資料等を全部見せてもらつています。売り上げ、経費、そして利益はどれだけ出ているのか。もし目標が達成できていなければどうすればいいのかを話し合つていきます。そうしないと私たちがやっていくことが正しかったのか間違つてたのかがわかりません。こういう方を対象にコンサルティングをしています。

ただ生産者の実情はどうなのか。私が実際に経験した話ですが、栃木県のイチゴ生産者50名とか100名が集まり、こうしてこうすれば収量が増えますよと話すよ、いやそれは困るよとよく言われます。おそろしくイチゴ生産者の7割とか8割はそう思つていてはいないでしょうか。なんで困るんですかと聞くと、忙しくなるからと答えます。確かにそうですね。では品質が良くなりますよという話をすると、それなら興味があると言つてくれます。この方たちはこれでいいんだと私は考えており、その辺の見極めが重要であると思つています。

勘や経験に頼る栽培が続く日本農業

いまの日本農業の一番の問題点は、勘や経験が重要だという農業が続いていることではないかと思つています。いくら関係者が、もしくは研究者やメーカーが新しい技術を提供しても残念ながら現場になかなか受け入れてもらえない理由だと思つています。これは提供する側にも問題がありますし、受け入れる側にも問題があると思つています。

私たちがよく直面するのは昭和の技術がまだこの業界は生きていっているということです。生産者の現場に行つて新設したハウスを見てみると、隣にある30年前のハウスと同じだったというケースがたくさんあります。普通は技術が進めばハウスも変わつてくるはずですよ。ではなぜそういうことが進まないのか。残念ながら目標のない中で栽培を行つていられる方が多いのかと思つています。ちゃんと知識や技術を習得して目標を持ちながらやつていけば非常に高い生産性が可能なんですということをお私たちが生産者の方に伝えていきます。

知識は中学レベルの植物生理が重要

具体的にどういうことをやっているのかといえれば決して難しいことでも何でもありません。まづ知識では植物生理が重要だという話をしています。それが、それも中学校理科レベルの植物生理です。それでも生産者の方が現場で適切な判断ができるようになると思つています。栽培はシンプルに考えるべきで、多くの方は複雑に考えすぎています。

基礎的な植物生理はこの100年あまり変わつていないと思つています。しかし技術は常に進歩していますから、私たちの話していることもだんだんと変わつていきます。そうではないとお客さんを満足させることはできないからです。それと主観的ではなくて客観的に捉えることが重要なかなと思つています。主観的はその人しか納得できないこと、客観的は誰もが納得できることと私たちは考えています。

一番わかりやすいのが勘と経験からデータを使つてやつていくという栽培方法ではない

かと。ただし経営には勘と経験が非常に重要ですから、そこに客観的なことを継ぎ足すことが重要です。逆に言うとう客観的なことだけやつていても上手くいかない。わかりやすく言えば栽培するにあたっては観察と生育調査が必要だとするならば、ハウスに入つて植物を見るのは主観的で、データを取つて生育調査をやるのが客観的なのですが、この両方をやつたときに最高の成果が出てくると生産者の方に伝えていきます。

デルフィーの問題点は競争がないこと

私たちは独立系のコンサルティング会社です。利点は生産者の方と同じ目標で日々取り組んでいることで、物を売つたり、買い取るのが目的ではありませんから、生産者の方に広い視点で不足していること、これをやればもっと伸びるといった提案ができるのが最大の特徴です。それをどうやって認めてもらうか。私たちに對する評価はとも厳しいです。コンサルティングの価値がなければ価値がないとほつきり言われますが、それが私たちを成長させることになつていてと考えています。

実はデルフィージャパン一番の問題点は競争がないことです。10年間やつてきて競争が出てこない。競争があれば生産者の方は適切なコンサルタントを選ぶようになる。そうすると私たちはその要求に応えるためにどんどん改善していき、生産者はどうと経営が改善して投資意欲が出てきます。有料の知識サービスは、生産者、コンサルタント、さらにはこの業界が成長できるようになつていくビジネスだと思つています。オランダの成長過程にはこういうことがあつたからです。

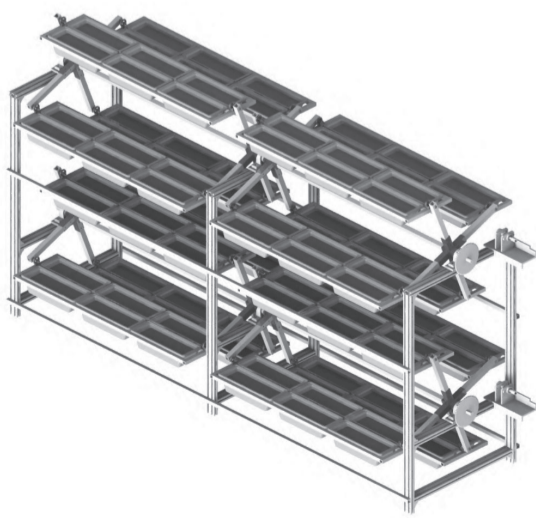
私たちはコンサルティングのほかにオンラインセミナーを積極的にやつており、現在はイチゴ編を10回にわたつて体系的に学べる場を提供しています。ご興味ある方がいらつしやればご連絡いただければと思います。

デルフィージャパン

栃木県小山市羽川
0285-38-7290

次世代回転自動栽培システム 新発売

回転システムでハウス栽培面積2倍以上増加可能!



- 1 回転型垂直4段栽培
多段式栽培で単位面積当たりの生産量が増加し
抜群な経済性!
- 2 自動灌水&自動補光
灌水量と照射量を自動でコントロールして大幅な
省力化を実現!
- 3 幅広い使用用途
花、育苗、ベビーリーフ等の野菜栽培に最適!



室内設置例(小型タイプ) 鉢物やキノコ栽培も可能
サイズ=W70×D192×H198 重量=80kg

基礎技術&特許権利者: 韓国・忠北農業技術院

国内発売元
株式会社 Mog

住所: 新潟県三条市西大崎 1-25-43

電話番号: 0256-39-6117
FAX: 0256-47-1550

製造元
Plant Your Tomorrow!
ジャンオートメーション
Jang Automation Co., Ltd.
忠北清州市上堂区環城面ダンジェ路 2004